

改正2. 高度技術提案型の評価の見直し

1. 現行の問題点

WTO対象工事は、高度な技術提案や適切な施工体制の確認を
求める高度技術提案型で実施しており、平成30年からの高度技
術提案型の入札結果からは以下の傾向がみられる

評価値が同点の企業体が多く、落札者が抽選で決まっている
受注者(その他構成員)に“地元企業”の参画が少ない

工事	工種	入札参加 者数	うち抽選	受注者(JV構成員)		
				代表	その他1	その他2
A工事	土木一式	18者	11者	県外	県外	県内
B工事	土木一式	7者	6者	県外	県内	県内
C工事	土木一式	18者	12者	県外	県内	県内
D工事	土木一式	12者	12者	県外	県外	地元
E工事	建築一式	2者	-	県外	県内	県内

表1. H30年以降のWTO案件の受注企業

2. 建設工事と品質の関係

地域特性への深い理解が品質に直結

- ・地盤条件、気候、災害リスクなどの地域特有の要素の活用

コミュニケーションの迅速化による品質管理強化

- ・地元調整等の迅速な対応による手戻り防止や施工ミスの回避

継続的なメンテナンス体制

- ・施工後の保守点検の対応の確実性

技術力だけでなく、品質管理体制を補う
評価の仕組みづくりとして

評価項目(地域精通度)の見直しを行う

3. 高度技術提案型の配点の見直し

◆ 高度技術提案型配点表

業種区分	技術提案①	技術提案②	配置予定技 術者の能力	企業の施工能力		計	加算 点合計
				企業の実績	地域精通度・ 地域貢献度		
現行	陸上・海上工事	10	10	5.0	5.0	30.0	30.0
見直し	陸上・海上工事	10	10	5.0	3.0	30.0	30.0

2.0点を配分
Δ2.0 +2.0

【配点】企業の施工実績

評価基準	配点
同種工事の実績あり	5.0
類似工事の実績あり	2.5
実績なし	0

【配点】地域精通度 3JVを想定

評価基準	配点
評価基準・配点なし	

評価基準	配点
同種工事の実績あり	3.0
類似工事の実績あり	1.5
実績なし	0

評価基準	配点
共同企業体の構成員のうち、 格付け等級がA等級の県内企 業が2社以上、かつ1社以上が 管内企業	2.0
共同企業体の構成員のうち、 格付け等級がA等級の県内企 業が2社以上	1.0
上記以外	0.0